

新聞を配る、それが人生。

配達を続けて50年以上になる。

一度も休んだことはない。

毎日の規則正しい生活と、配達時の運動のおかげで50年間病気になることがない。

それぞれの担当地区をバイクで回る。

悪天候時は車で二人一緒に配達する。

強風で田んぼに落ちたことも、

膝まで積もった雪を

スコップでかき分けながら配達したこともある。

配達を終えて朝食を食べ、もう一度布団に入る。

「今日はええ星空だったがあ」

「あのさんの家は新聞が溜まっちゃったが、まめなかいなあ」
そんなことを夫婦で話しながら眠りにつく。

新聞を配ることは、気を配ること。